



南大阪看護専門学校 平成 30（2018）年度・学校関係者評価【要旨】

『南大阪看護専門学校 学校評価実施規程』第 15 条（学校関係者評価結果）の規定に基づき、平成 30（2018）年度の「評価結果（要旨）」を公表いたします。

また、同『規程』第 16 条（学校関係者評価の活用）の規定に基づき、本校教育活動および学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めている旨確認しましたことをご報告いたします。

平成 31（2019）年 3 月吉日

南大阪看護専門学校 学校関係者評価委員会
委員長 中谷 守一

【1】学校行事に関する評価

(1) オープンキャンパス（平成 30（2018）年 8 月 2 日（木）、8 月 8 日（水）、8/17（金）の 3 回開催）について

① 参加者（延べ数）は、127 校 233 名（うち高校 3 年生は 51 名）であり、前年度に比し 54 名の参加者数増となった。

ホームページにおける開催案内ページの工夫、斬新な「ポスター」「チラシ」の作成ならびに高等学校への配布部数の増などが奏功した結果と評価できる。

② 参加者に実施したアンケート結果においても、“在校生や教員と触れ合えて良かった”、“自由な時間に自由に見学できて良かった”など高評価が得られている。

③ 今後はオープンキャンパス参加者の受験増、入学増に繋がることを目指し一層充実したイベントとなるよう期待したい。

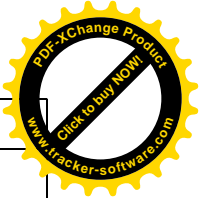
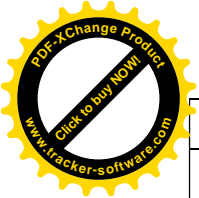
(2) 教科アンケート結果（平成 29（2017）年度）について

① 平成 29 年度「授業（講義）アンケート（20 項目）」および「臨地実習領域別アンケート（11 項目）」結果（分析速報）[学生による 5 段階評価]に基づき、本校の傾向について確認・検討した。

②各分野ごとの科目の評価結果は次のとおりであり、3 点台の評価となった科目については、さらなる検証とその底上げ・充実を期待する。

基礎分野（13 科目）	3 点台の評価：3 科目、その他の科目はすべて 4 点台
専門基礎分野（14 科目）	3 点台の評価：4 科目、その他の科目はすべて 4 点台
専門分野Ⅰ（2 科目）	2 科目とも 4 点台
専門分野Ⅱ（5 科目）	5 科目すべて 4 点台
統合分野（4 科目）	4 科目すべて 4 点台
臨地実習（領域別 7 項目）	7 項目すべて 4 点台

③ 集計・分析については、専用ソフト導入による迅速化、より緻密な分析、省力化なども検討されたい。



【2】 その他の学校運営に関する評価

(1) 本校の“売り”となる取り組みについて

- ① 本校も“売り”となる（看護師を目指す高校生に訴求できる）取り組みの検討が必要。

(2) より良い看護学生を育てるためには

- ① 国語力の身についた、いわゆる基礎的資質の高い学生を確保する（入学してもらう）必要がある。また学生からの評価が低かった（苦手意識の高い）科目等に対して通常の学科教育とは別に基礎力向上プログラムが提供され有効であることが開示されており、継続と充実が望まれる。これらにより、より良い看護学生の育成が可能となろう。
- ② ボランティア活動も社会教育として重要な側面をもつと考えられるため、地域住民（活動）へのボランティア交流も促進されるべきと考えられる。ボランティア活動に対する単位認定も考慮されても良いかもしれない。
- ③ 退学者低減策として、“学習評価点の変更”、“実習スケジュールの見直し”、“（学習効果を上げるための）学内実習の導入”に取り組んだ結果、平成 30（2018）年度の退学者は 0 名と効果が認められた。今後も引き続き“退学者 0”かつ 3 年間で卒業できる体制づくりを維持・強化してもらいたい。

(3) 同窓会組織の活用、伝統ある本校の歴史の公表について

- ① 同窓会活動や卒業生の活躍状況をホームページに掲載して、本校の魅力を発信していくことも必要。
- ② 本校は伝統があり、これまでの沿革や活動についてもホームページでしっかり公表してもらいたい。